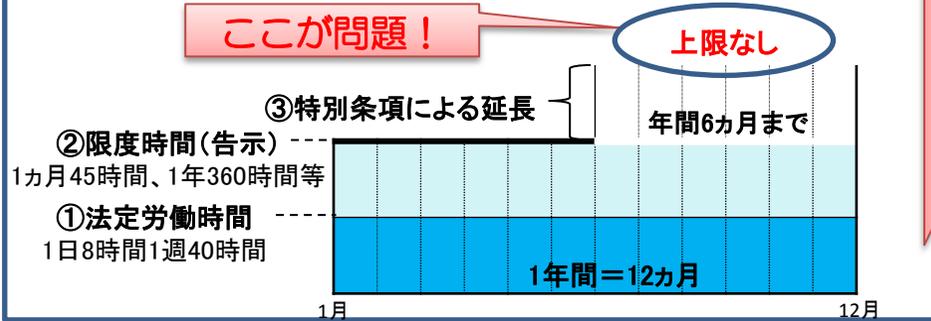


労働時間規制に関する改正案が提示されました！

- 「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）を受け、厚生労働省内に「仕事と生活の調和のための時間外労働規制に関する検討会」が設置されました。検討会では、上限規制のあり方にとどまらず、マネジメントや業務プロセスの改革、発注元や親事業者を含む業界全体の取引慣行・商慣行の改善など、さまざまな観点から、長時間労働是正のための課題が提起されました。
- 2月14日に開催された「第7回働き方改革実現会議」では、検討会での議論等に基づき、法改正に関する具体的な議論が行われました。

現在の労働時間規制

- ①法定労働時間を延長する場合は、36協定の締結・届出が必要
- ②延長時間は「時間外労働限度基準」に規定【限度時間（告示）】
- ③「特別条項」を結べば、例外的に限度時間を超えることが可能



見直しの方向

～時間外労働の法改正の基本的考え方～

- 36協定でも超えることのできない時間外労働の限度を法律に規定
- 健康の確保を図った上で、女性や高齢者が活躍しやすい社会とする観点、ワーク・ライフ・バランスを改善する観点等、さまざまな観点が必要

1ヵ月・1年間の上限が規定されます

特例

1年720時間以内（月平均60時間）

* 月あたりの上限時間数は未定

限度時間（法律に明記）

1ヵ月45時間、1年360時間

法定労働時間

1日8時間1週40時間

「臨時的な特別な事情がある場合」の特例（労使協定締結により限度時間を超える時間外労働）を認める。



一方で...

柔軟な働き方に関する労働時間制は規制緩和

労基法改正法案（継続審議中）

高度プロフェッショナル制度の創設

- ・柔軟な働き方を可能とする既存の制度で対応可能
- ・労働時間規制が適用除外されるため、長時間労働につながる恐れ

企画業務型裁量労働制の対象業務の追加

- ・対象業務追加により、長時間労働となる恐れが高まる労働者の範囲が拡大

フレックスタイム制の清算期間上限の延長

- ・特定の月に過重労働となる恐れ

民進党など野党4党は、実効ある長時間労働是正策として、すべての労働者を対象とした労働時間の量的上限規制と勤務間インターバル規制等を含む「長時間労働規制法案」を提出しています。



●労働時間規制については、すべての労働者を対象とし、健康確保を図った上で、ワーク・ライフ・バランスの実現につなげる必要があります。

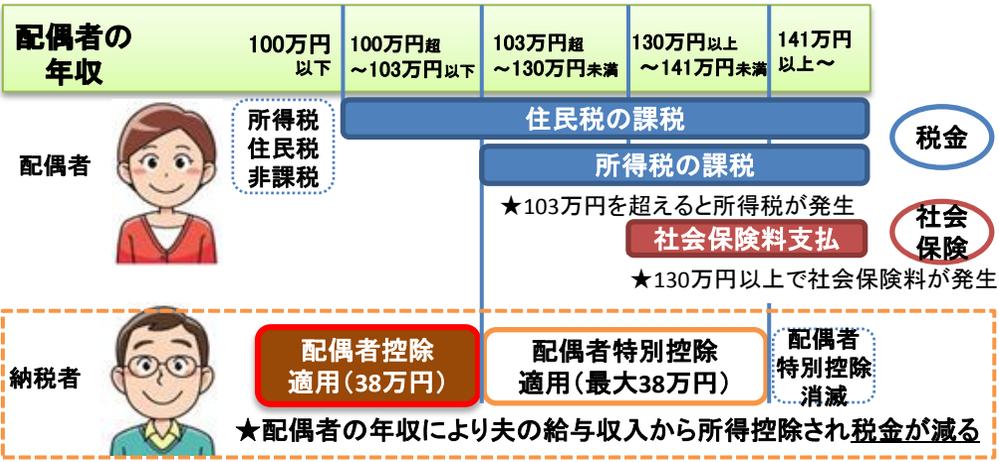
●総実労働時間の短縮については、働き方改革への労使の一層の取組みが不可欠です。

配偶者控除の見直し「働き方の選択に中立で公平な税制を！」

■現在会期中の193回国会では、配偶者控除・配偶者特別控除の見直しを盛り込んだ「所得税法等改正法案」が提出されています。当初、配偶者控除の廃止や、専業主婦でも共働きでも適用される「夫婦控除」の導入等が検討されましたが、結局は抜本改革は見送られ、適用対象年収の引上げという小手先の見直しとなりました。

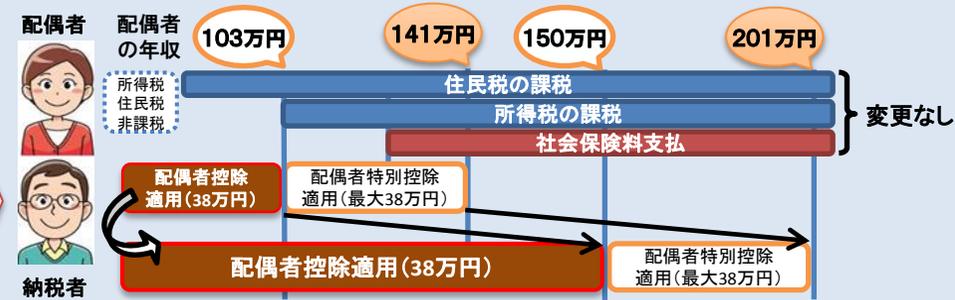
配偶者控除とは

配偶者(妻等)が無収入または年収103万円以下であれば、納税者(夫等)の給与所得から38万円を控除して所得税額を減らすことができる制度。1961年に妻の内助の功に配慮して創設。



見直しの内容(2018年～)

- 配偶者の給与収入金額の上限を103万円→150万円に引上げ
- 150万円を超えると控除額は段階的に減り約201万円で消失(現行141万円)



※納税者本人(夫等)には所得制限を導入。給与収入金額1,200万円で控除額が段階的に減り、1,220万円で消失。

しかし…配偶者の税負担は変わらず、社会保険料の支払いが発生する130万円の壁は残ったまま。また配偶者手当の支給要件を103万円にしている企業もあり、手取り年収を意識した働き方の選択は残ります。

なぜ見直しが必要なの？

- 配偶者控除の創設から半世紀を経て、家族のあり方や働き方の多様化など社会環境は大きく変化しています。またこの制度が配偶者の就労調整につながっていること、パート世帯の方が専業主婦世帯や共働き世帯よりも控除額の合計が多いこと(二重の控除)などの指摘があります。
- こうしたことから、政府は女性の就労促進など「働き方改革」の一環として、配偶者控除の見直し論議を進めてきました。



控除される枠は拡大されたものの、現状は、誰もが働きやすい環境整備が十分に行われたとは言えません。

- 社会の環境変化に見合った働き方の選択に対し、中立で公平な税制が求められます。また税制のみではなく、社会保障制度と一体で検討することが必要です。
- 就労調整を解消するには、育児や介護など家庭的責任をもつ人への配慮、そして長時間労働の是正が不可欠です。